

「少人数学級の実現を！」

枚方市駅で宣伝・署名行動

⇒ 40人学級の中学の教室の実情を告発する西岡副委員長



署名に賛同する学生さん

枚方教組、T-SITE前で訴え

11月7日(土)の夕方、枚方教組は、枚方退教・新婦人の皆さんと教育全国署名と少人数学級署名の宣伝行動を実施。20人超が集まり、市民に学校現場の実情や少人数学級の有効性を訴えました。
「一人ひとりを大切に作る少人数学級を」「コロナ禍でも安心・安全の学校生活を送るために少人数学級を」などと、T-SITE前で執行部がマイクを握り、次々と訴え、買い物客や教え子たちが署名に応じました。

府当局、一時金0.05月分の引下げ強行を表明



府はコロナ禍での労働負担を改善せよ!

12日、府労組連(大教組・府職労)は府当局と団体交渉を行い、一時金の引き下げ撤回、会計年度任用職員の待遇改善など、コロナ禍での労働条件の改善を求めました。府当局は一時金の引き下げを改めて表明し、撤回させるには至りませんが、府労組連は引き続き、賃金の大幅賃上げ、長時間勤務の解消、人員の大幅拡充を求めて、交渉を続けます。

負担が増え、こんなに激務なのに



私たちは公務員はスト権など労働基本権が制約されている代わりに、給与において人事院が国に勧告し、府の人事委員会が府知事と府議会に勧告を行います。第三者機関が行う勧告は当然尊重されなければなりません。ところが、歴代の維新知事はたびたびこれを無視してきました。吉村知事は、昨年の月例給(平均)3300円(年換算6万円)の引き上げ勧告を無視。今年のマイナス勧告には「尊重」という、都合のいい姿勢をとっています。こんなことは、現場職員員として到底納得できるものではありません。

職員は冷遇 経済は停滞



これが維新府政の実態

コロナ対策のための国の2次補正予算で加配が認められた教職員枠は、政令市の大阪市・堺市を除く大阪府下で185人できたのに、実際に配置となつたのは84人。養護教諭に至っては14人中わずか2人とどまっています(9月1日現在)。これは、長年続く賃金抑制や、他府県に例を見ない評価制度によって、職員の手が少なく、逆に「大阪から人が逃げる」実態が影響しているのは明らかです。

労働条件の改善を求めて

府労組連は交渉強化

府労組連は交渉・折衝を強化し、すべての府職員の給与水準引き上げ、再任用職員と非常勤職員の待遇改善、コロナ禍でも対応できる職員体制の確立、安心して働き続けられる職場環境の整備を今後もめざします。

少人数学級の実現は急務

枚方では小5への進級時にクラスの児童数が激増する場合も

新年度予測 15校が該当

枚方子ども会議は、新年度の小学校5年での学級編制が、45校中3分の1の15校で、小4の人数から大幅に増え、学習環境が悪化すると公表しました。これは、枚方では小4までが35人学級なのに対し、小5からは40人学級なので、学級が1クラス減ってしまうことが原因です。

このように、新5年生で学級あたりの児童数が増えた学校では、これまでも「1学期の5年生がなかなか落ちつかない」「図工の時間に、水入れの置き場所が困る」「習字の時間に書いた作品を床に置くと、足の踏み場もない」など、5年生1学期の授業の困難が語られていました。

新5年の子どもたちにとっては、4年生同様の環境の中で学習・生活ができることが求められています。枚方子ども会議事務局の山本修平さんは、「そのためには、5年生へ35人学級を広げればよく、市の予算8000万円で可能です。これは、枚方市の年間予算のたった0.05%で解消できることです」と述べています。

国段階で少人数学級を求める声は大きく広がっていますが、「少人数学級編制の実現を求める意見書」を、枚方市議会ですべて全会派が採択した(9月23日)市として、独自措置の前進的な検討が必要です。

増加児童数	小4⇒小5	該当校
+20人	20人⇒40人	明倫小
+14人	26人⇒40人	小倉小・伊加賀小
+12人	24人⇒36人	開成小・中宮小・長尾小
	25人⇒37人	さだ小・樟葉南小・磯島小
	26人⇒38人	樟葉西小・桜丘北小
+10人	30人⇒40人	牧野小
+9人	27人⇒36人	樟葉小・藤阪小
+6人	30人⇒36人	津田南小

【枚方子ども会議 5月1日調べ】

第47回まなび庵のご案内

「使ってみよう タブレット」

—使って役に立つ、子どものために生かせるICT活用—

- 11/20(金) 19時～ ● 軽食あります
- 組合事務所にて ● タブレット持参
- 参加費300円 ● どなたでも参加できます